



常陽中 だより

令和2年 3月 17日
尼崎市立常陽中学校
校長 徳山 壮一

20

卒業おめでとう



3月17日(火)

令和元年度 第36回卒業証書授与式
103名の卒業生の皆さん。

ご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

中学校3年間 本当にいろいろな

ことがあったと思います。楽しかったこと、うれしかったこと、つらかったこと、悲しかったこと……。その一つ一つを大切な思い出として胸にしまい、常陽中学校を巣立って行って下さい。卒業はゴールではありません。未来へのスタートです。この先どんな困難があっても、常陽中学校での3年間の学びを勇氣と力に変えて、自信と誇りを持って、皆さんが進んでいく新しい世界でこれまで以上に元気に活躍することを心から願っています。

4月 校長として常陽中学校に赴任し、卒業生の皆さんと出会いました。皆さんと過ごしたこの1年間は、感動の連続でした。修学旅行、体育大会、合唱コンクール、文化発表会、部活動、授業中の真剣な眼差し……。そして、朝や放課後の校門や廊下でのさわやかなあいさつ、明るい笑顔、元気な笑い声……。たくさんの元気をいただきました。皆さんのおかげで一生忘れることができない貴重な時間となりました。ありがとうございました。

卒業生の皆さんは、自分では気がついていないかも知れませんが、素晴らしい力を持っています。皆さんには、まだまだできる力があります。自分の可能性を信じて、常にポジティブな言動を心がけ、夢や目標の達成のためにひたむきな努力を積み重ねて行って下さい。努力は絶対に裏切りません。



常陽での最後の合唱



3月2日(月) 突然発表された臨時休業が始まる前日。第36回卒業証書授与式では歌うことのできない、校歌・別れの歌(「あなたへ」「群青」「あすの空へ」)を学年全員で歌い上げました。素晴らしい合唱に感動しました。しかし、練習を積み重ねていけば、さらに素晴らしい合唱になっていたと思うと……。また、もう二度と皆さんの歌声を聴くことができないと思うと……。とても残念でなりません。

校長として、卒業生のみなさん一人ひとりに卒業証書を手渡し、励ましの言葉を贈りたかったのですが、その思いが叶わずとても残念です。また、皆さんのご家族に、皆さんの堂々と卒業証書を受け取る姿と卒業生全員が心をつにした魂の合唱で、これまでの感謝の気持ちを伝えて欲しかったのですが、その思いも叶わず残念です。何より卒業生の皆さんと3学年の先生方が本当に残念で、悔しい思いをしていることだと思います。でも、現実を受け止めるしかありません。ただ一つ言えることは、皆さんは、今までの先輩方をしのぐ素晴らしい卒業証書授与式を作り上げていたであろうと、私は、確信しています。

保護者の皆様へお礼



お子様のご卒業 おめでとうございます。
常陽中学校に入学し、はやいもので3年が経ちました。ここまで立派に成長されたお子様の姿に感慨もひとしおのことと思います。お子様の在学中には、育友会活動をはじめ、本校の教育活動にご理解、ご協力、ご支援をいただき、誠にありがとうございました。心からお礼申し上げます。

おめでとう 皆勤賞



1組	高岡 真由妃 中川 舞 森田 倫ノ介	田澤 ゆき 古川 美紗	
2組	岸本 史織 安田 楓	瀬在丸 萌花 山下 華凜	萩原 美星
3組	石川 花音 浦田 唯愛	石田 愛佳	今崎 まりん



3年間 一度も欠席・遅刻・早退することなく登校し続けた、14名の生徒の皆さん 皆勤賞おめでとうございます。本当に素晴らしいことだと思います。中学校生活の誇りとして、これからの人生の自信にして下さい。

卒業生の皆さんへ 贈る言葉

「あたり前のことをあたり前にできる人に」

「あいさつをする」「約束を守る」「掃除をする」「自分や他人を大切にする」など、人として、あたり前のことはたくさんあります。皆さんが、人として、高校生として、社会人としてあたり前のことをあたり前にできる人に成長することを願っています。

「あたり前のことをあたり前と思わずに感謝できる人に」

今回の新型コロナウイルスにより、朝起きて、登校し、授業を受けるという何気ない平凡な日常がどれだけ大切であるかに気がついた人が多いのではないのでしょうか。皆さんが、特別と感じていない日常の様々なことに、あたり前と思わずに感謝できる人に、また「ご飯を作ってもらってあたり前」「勉強を教えてもらってあたり前」など、まわりの人がしてくれることをあたり前と思わずに感謝できる人に成長することを願っています。

卒業証書授与式 校長式辞より

